

中間発表会を行いました

10月8日(土)に課題研究中間発表会を本校で行いました。1, 2年生は4月から行ってきた研究を発表する場として準備し、この日に臨みました。

1年生普通科の生徒は「多摩の探究」という大きなテーマの下で、3~4人1グループになり、多摩の自然や歴史、地場産業、文学など立川高校のある多摩地域について分野を絞り探究活動を行いました。1年創造理数科の生徒は5月に行った八丈島フィールドワークでの活動を通じて各自が興味をもったことを探究しまとめました。2年生 SSH クラスはゼミに分かれ、それぞれのテーマについてのどこまで探究が進んでいるかを示せるいい機会となりました。それぞれが発表するだけでなく、発表を見る立場にもなり、3学期に行うポスターセッションの良いトレーニングとなりました。

生徒たちは中間発表会のための資料の整理・作成を通じて、発表に必要な力を学んでいたことが見てとれました。

探究委員レポート

まずは中間発表会お疲れ様でした。SSHクラスの先輩や同級生の発表ないしはTAの方々のアドバイスを聴いて着眼点や研究方法等、今後の探究活動の参考になることが多くあったと思います。また、発表を聴いてくださったTAの方々や先輩からの質疑では探究の難しさを痛感したのではないかと思います。さて、聞く立場として思ったことは、発表者を見ずに原稿やボードだけを見ながら発表している人が少なからず見られました。ロボットみたいに発表していると頭に内容が入って来づらいので気を付けましょう。初めての探究ということもあり、慣れていないこともあったかと思います。良かったところも悪かったところも反省して次の活動に繋げていきましょう！ (1E 探究委員)

1年生の皆さん、中間発表会お疲れさまでした。皆さん一学期初めから中間発表会までの探究を通して、自分の中で探究というものをより明確なものにできたと思います。ですが同時にテーマ決めや構成の難しさを感じた人も少なくないと思います。私の場合は途中で行き詰まってしまい、なかなか思うように探究を進めることができませんでした。また、中間発表会では、自分とは異なる発表を聞いて、自分たちの発表の良かった点や悪かった点などを再認識できたと思います。この経験を活かして個人探究も頑張りましょう。 (1F 探究委員)



探究交流会も行いました

中間発表会を終えた次の週に、1~2年生で探究交流会を実施しました。1年生はこれから各自がテーマを決め、本格的な探究活動をスタートさせていきます。「自己の探究テーマをどう決めるのか」「どのように探究を進めるのか」「探究に行き詰ったときはどのように対処するのか」など、経験を通じて得た内容を2年生より具体的に聞くことにより、今後の探究活動への意識が高まり、期待と自身もついたように思います。

探究委員レポート

77期の皆さん、課題研究交流会のときによく2年の話に耳を傾けてくれてありがとうございました。これから多摩の研究と違ってより自由度の高い研究になるゆえに、心配だと思います。

ここでは、早め早めに動くことについてお伝えします。僕の友達は実験を必要とする探求をしていたのですが、どんどん実験が後ろ倒しになったせいで、テーマを大きく変えざるを得なくなり、大変な様子だったのを覚えています。(彼もいろいろと忙しいようでした。)ですので勉強もすることも、友達とゲームしたりするのも大切な時間ですが、前倒して計画を立てることをお勧めします! がんばって~(^^)/ (2D 探究委員)



★アンケートより一部抜粋★

【発表会と交流会をふりかえって】発表会と交流会を通して得た気づき(2年生)

- 自分のした研究を時間をおいてもう一度説明することで、再び自分の研究を認識できた。「探究のネタはどこに転がっているかわからない」というのは一年生にテーマをどう決めるか質問された時に言ったが、言う前は自分でも認識していなくて、言った後に自分自身でも納得した。話すことで認識ができた。
- 面白い興味や問題意識を持っている人がたくさんいて、こうした様々な思考からくる研究が世界を発展させて来たのだなと感じた。語り合うことで、それぞれ今まで気づけていなかったことに互いに気づき気づかせることができ、探求活動を発展させる上でとても良い機会だったと思う。
- 皆それぞれ違う意見や考え方を持っているから、私の考察をより多くの人々が納得するにはより沢山の情報と信頼性のある根拠が必要だと感じた。人の考えを否定して入るのではなく受け入れて自分の意見に反映させることが大切だと思った。
- 課題探求には向いている人もいるけれど、ほかの方法で成長できる人も多いと思うし、そこそこ負担になっていた自分の経験もあるので、うまく課題探求をこなすコツを共有できていいと思った。
- 自分の研究を振り返り他人の研究を見て参考にすることで、自分の探究を客観的に見ることが出来、より内容を深く掘り下げて、自分の求めたものではなくても、探究として質の良いものにするための指針になると思った。
- 発表として数人に伝える時と、交流として1人に伝えるときでは、伝え方が異なった。相手が1人の場合はその人の反応に合わせて話し方を変えることができるが、数人いる時はその反応を窺いながら全員に平等に伝わるように話さなければならなかった。
- 自分の探求も1回終わったけどまだまだ深められるところがあるんだなと思った。探求発表会で色々な人の話を聞いて、ひとつの事にもたくさんの考え方があるのだと実感した。
- たとえ専門的な知識を必要とする探求を行ったとしても、他者に理解されるように伝えることの大切さに改めて気づいた。また、他者に伝えることが、自身の探求データにどれほど信憑性があるのか知るチャンスになることも分かった。
- 計画性を持って行動することが大切だ。
- 去年、自分の研究は進んでいないと感じていたが実際は周りと同じくらい変わらなかつた。また、一年生は、自分と同じ理由で焦っている人が多いなと思った。
- 自分でたくさん研究内容を人に話しているうちに、自分の研究が具体的に自分でも理解できるようになった。自分で何度も言語化すること理解度が深まるのだと気付いた。
- 人に話す事で自分の意見は確立され、フィードバックを得ることができて、アドバイスをもらえる。人に話すことが大切だとわかった。
- 今見返して、グラフとかアンケートとか集め方とかを一年生に話しているうちに自分は思っていたより、頑張っていたということを知った。今同じことをやろうとしても頑張れないかもしれない。もう少し一年生の時のように学習に意欲を持って取り組んでいきたいと思った。
- 自分では理解できていることでも、他人に伝えるのは難しいということ。
- 1年生のパワフルさに圧倒された。活発に質問して説明を進めやすくしてくれて本当に助かった。意欲的に取り組んでいて、3月の発表会が楽しみになった。自分もたくさん説明することで要点を分かりやすく説明する力がついたと思う。
- 普段あまり喋ることがない人たちと話して、新鮮だった。真剣に聞いてくれて良かった。

【発表会と交流会をふりかえって】参考になったこと(1年生)

- 先輩方の体験談がとても参考になりました。例えば、テーマは社会的に結びつけられるものが良い、パワポは見栄えが良くなるように工夫すると良い、計画を立てて早め早めに行動するのが良い、といったアドバイスをたくさん頂けて、具体的な探求活動の進め方をイメージすることができました。
- 探究を進めていく上で、テーマと研究内容は確実に固めたほうが良い、また、考察と今後の展望は探究の成果となるものなので非常に重要であると伺って、力を注ぐ部分が明確になった。また、理系文系どちらの探究においても計画性は大切になると改めて感じさせられた。
- 僕はテーマをある程度決めて、研究の流れを考えていく過程で交流会に臨んだので、丁度良いタイミングでだいぶ参考になった。とにかく計画的に進めるのが大事とのことだったので、今のうちから出来ることをやっておきたいと思う。また、テーマが広すぎても情報量の多さに混乱してしまうという話を聞いたので、テーマの修正等も検討していきたい。それから、研究の概要を英語で書いていて凄いなと思ったが、今の自分には難しいので、英語の学術用語等を覚えることも大切だと思った。
- 計画の立て方が特に参考になった。まずこういうことが知りたいというなんとなくゴールを決めることが重要だと分かった。何をやりたかったのかわからなくならないように目的を再度確認することを意識したい。またテーマは研究できそうというのが大切だと分かった。パワポの作り方も統一するとか、グラフは見やすいほうがいいとかとても参考になった。
- 自分は文系の研究をしようと思っていて文献調査を主にやろうと思ったが、先輩が文系でもフィールドワークをできるだけやったほうが良いと教えてくださったことが参考になった。
- とにかく明確なテーマをいかに早く決めるかが勝負だと思う。探求を進めていく中で主とするテーマがコロコロ変わってしまうと内容が薄くなってしまふなど不都合な点が多く出てきてしまう。だから少し時間がかかってもしっかりとしたテーマを決めていきたい。
- 自分の興味のある分野ややってみたいと思える分野で、自己満足でもいいからまずやってみようということ。また、信ぴょう性のある研究にするために多くのデータを集め、文献を集めるにしても公的機関や割と新しめの文献、信用できる作者の記事など信ぴょう性のある文献を集めることが大事だということ。

【発表会と交流会をふりかえって】先輩へのメッセージ(1年生)

- テーマがなかなか決まらないという悩みに対して真摯に答えて下さり、ありがとうございます。多岐にわたる探究の進め方や探究に対する姿勢が窺え、探究に取り組み始めた頃の初心に戻ることが出来ました。本格的に始まる2年の探究活動がとても楽しみです。テーマをしっかりと固めて、自分の求める結論に突き進んでいきたいと思ひます。本当にありがとうございます。
- 結果がうまくいかないことも成果だという言葉にとっても励まされた。どんなことをやっていいか全然わからなかつたけど今回の交流を通じて好きなことをやってみるのが良いと分かり少し見えてきた気がするのととても助かりました。楽しんでできるようにしたいと思います。
- いろんな先輩たちの興味深い研究を聞いたことがまず楽しかった。研究をするにあたり気を付けた方がいいことや、データの集め方、やっておいた方がいいことなど自分の研究のためになることをたくさん聞いて良かった。先輩の研究を聞いていてツッコめるところも少しあったりしたので、それを師として自分の研究に吸収したいと思った。聞きたいこといっぱい聞いて良かったです。先輩方、素敵な発表をありがとうございます。
- 先輩方が研究を自分たちにわかるように説明しようとしてくれたり、自分の研究に対するアドバイスを真剣に考えてくれたのでとても有意義な時間となりました。自分たちの未来の姿が見られたので、これからの探究活動の見通しを持つことができてよかったです。